



第一工事部 部長 **前野 拓也**

(前編に続く)

「モノづくりを仕事にしたい」という希望を幼い頃から抱いていた前野拓也は、夢をかなえ、20年以上にわたって建設業界に身を置いている。職人として数年の経験を重ねたのち、株式会社小澤製作所に入社したのは2005年(平成17年)。思い出に残る出来事や、現場監督という仕事のやりがいについて聞いた。

大きな成長を遂げた 2010年代

新米の現場監督として入社した当初、小澤製作所が抱えていた職人は12名ほど。それからは、「15名を一人で取り仕切れるようにならなさい」という社長の教えを目標に、日々の業務に励んできた。失敗を学びに変え、経験を積む

こと数年。30歳を迎える頃には、工事部長を任せられるまでに成長した。受注が増えるにつれて、社内に常駐する職人も増員。その数を50名近くにまで増やし、部長へと昇進した前野は、ますます仕事に邁進した。

築き上げてきた信頼関係

頼まれた仕事であれば、その内容にかかわらず、快く引き受けてきた。仕事を多く任せてもらうためには、取引先との信頼関係が何よりも重要だと考えているためだ。以前は、休日や夜間にも依頼のお電話が入ってくることもあった。

「申し訳ないですが、いますぐ職人を集めて来てください。」

そんなときは、急ぎよ動けるメンバーを呼び集め、現場へと向

かった。取引先の人々が困っている様子を思うと、動かざるを得ない。工場内の機械に不具合があれば、修理が完了するまでは生産も止まってしまうからだ。「必要とされている」という思いがあるからこそ、できる限り依頼は受ける。

それが前野のモットーだ。どうしても引き受けられない場合以外は、休みを返上してでも現場に駆けつけていた。



あるとき担当した突発工事では、工事の際は現場にいなかった工場長から「昨日は助かったよ、どうもありがとう」と、直々に声をかけられたことが忘れられない。長く現場監督を務めてきて、最もやりがいを感じた瞬間だった。

職人たちの尽力があつてこそ

次々と舞い込んでくる依頼に対応するため、5人、10人と増えていった職人たち。急な依頼や大量の工事に難なく対応できたのは、声をかければすぐに集合し、現場で尽力してくれる彼らの支えがあったからだ。取引先からは、感謝のお言葉をいただける機会も多い。そんなときは必ず、伝えられたお言葉を皆に報告している。

前野自身も、職人たちへの感謝

の思いは強い。日頃から感謝の気持ちを素直に伝えたいとは思っているが、実践できていない。緊急工事の際や、休日対応の作業が終わったあとに「ありがとう」という一言をもらえば、誰だって嬉しく感じる。職人たちも感謝の言葉をやりがいにつなげてくれるだろう。これからは、そうした思いも素直に多くの人に伝えられるように、努力をしなければいけないと感じている。

再び活気ある職場に

景気の悪化に伴い、ある時期から仕事の依頼が途切れるようになってしまった小澤製作所。しかし、近年では再び回復の兆しが見えはじめている。第二工事部では3年ほど前から新たな取引先の依頼を受けるようになり、それに統

部でも取引先の幅が徐々に広がってきた。嬉しいことに、長らくおつき合いのある企業様からの依頼も増加傾向にある。

全盛期に常駐していた職人はおよそ60名。その半数以上を手放してしまった時期もあった。現在、一番に掲げる目標は、その職人たちを呼び戻すこと。しばらくは時間がかかるかもしれない。それでもかつての体制を復活させ、活気あふれる職場に戻したいという熱い思いがある。入社以来、全身全霊で仕事に取り組んできた前野が思い描く、小澤製作所の未来。その姿を実現させる日まで、期待をもつて見守りたい。

施工事例紹介

設計から現場まで幅広く担当されている竹村さん。クライアントの要望を「突破する」に尽力する竹村さんの、年末年始の案件を振り返ってもらいました！

工事の概要

案件：飼料用脱水機の修復工事
 施工期間：1日
 施工人数：20名



第一工事部 兼 設計部
 マネージャー
 たけむら ゆうき
竹村 幸起さん

お客様からの要望

クライアント先の工場の心臓部である、飼料用脱水機の修復工事です。とうもろこしを脱水して、家畜用の飼料を作る機械で、そのとうもろこしをすり潰すための螺旋部分が故障してしまっていたのです。通常の復旧作業であれば3~4日かかるところを、翌日の運転開始に間に合わせるために夜通しで作業をしました。

施工で工夫した点

今回の工事は年始の運転開始の直前でした。年始の始動に間に合うように、職人たちとしっかりコミュニケーションをとり、仕事の重要性を伝えるなどして工夫をしました。



施工で学んだこと

皆で乗り越えるためには自分自身がどのような行動をするべきか学びました。職人によって、考え方はさまざま。そのさまざまな職人がいるなかでそれぞれの「やる気スイッチ」を押してあげることが、全体の対応力に繋がることを学びました。

普段の業務で意識していること

当社は以前から、不可能を可能に「突破する」を実現してきました。そのために、日頃から在庫を余分に用意したり、既存の部品を有効活用したりするようにし、お客様の要望にすぐに応えられるようにしています。また、一緒に働く皆さんがやる気を出して業務を行えるように働きかけをすることが重要です。一人ひとりの性格を見つつ、普段からのコミュニケーションを大切にすることが、いざというときに役に立ちます。



よくいただくお問い合わせにご回答！

いずみパーキング
 新栄営業所
 現場統括マネージャー
 にしやま ゆうま
西山 雄真さん

よくいただくお問い合わせに回答していくこの企画！今回はいずみパーキングの現場統括マネージャーである西山さんにお話を伺いました！

①オーナー様から「賃料がいくらになりますか？」と賃料についてのお問い合わせ

お問い合わせへの対応

サブリース賃料についてのお問い合わせには、弊社の強みである「1台から見積もりが出せる」というところを含め、周辺調査をしてクイックレスポンスで回答させていただきます！

②ビルを管理しているPM会社様から「相場」に関するお問い合わせ

お問い合わせへの対応

PM会社様からの相場の質問に対しても、早々にマーケット調査をして相場表を提出させていただいております。



メッセージ

弊社のHPの「オーナー様問い合わせサイト」、もしくは電話にてお問い合わせをお待ちしております！

お問い合わせはこちらまで

■ <https://izumi-p.com/contact>

■ TEL:052-938-3771 平日 9:00 ~ 18:00

BRICKYARD Recommended

朝晩も涼しくなり段々と秋めいてきました。皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。



Customer's Voice

ブリックヤードでは、9月も本当に沢山のご予約をいただきました。ありがとうございます。物販、美容師様、アパレル撮影、ポートレート撮影、ダンス動画など、ご利用目的もさまざまで大変嬉しく思っております。

Monthly SELECTION

ブリックヤードでは、毎月グリーンの入れ替えをしています。木の種類、大きさが変わると、不思議とスタジオの雰囲気も変わるものです。生き生きとした空気を感じ取っていただけましたら幸いです。また、スタジオ内にはいくつかのドライフラワーもありますので、是非多目的でお使いください。

かやまさえき
 文章：BRICKYARD 香山 冴季さん